

論点メモへのご回答 (雇用関係助成金)

平成 29 年 9 月 19 日
厚生労働省

論点メモ（労務管理－雇用関係助成金）

1. オンライン化は、e-Gov 申請のような申請プラットフォームで行えるようにすべきではないか。その際、電子証明書を省略すべきではないか。
2. 労務管理（雇用関係助成金）の 20%削減のためには、毎年のオンライン利用率の目標を設定して取り組むべきではないか。
3. 窓口を介さずに遠隔で質問・相談ができるように、
 - ①音声自動説明を導入してはどうか。
 - ②テレビ会議（ネットを活用）システムを活用してはどうか。
 - ③事前予約に基づく時間指定制を導入することにより、待ち時間を削減できないか。
4. 申請様式の簡素化の具体的内容を明示されたい。
5. 計画書の認定申請時と支給申請時に重複する情報を求めているか。
6. 従業員一人一人分について提出する必要がある教育計画等については、対象労働者全員分をまとめた様式に簡素化できないか。
7. 「助成金の種類が多く、どれが利用できるかわからない」という意見があるが、年間 100 件未満の助成金を含め、類似の助成金を整理・統合するなどして、助成金の種類を減らすべきではないか。
8. コスト計測結果（実施分）について示されたい。
9. 現在検討中の中小企業の生産性を向上するための設備投資の助成金について、既存の生産性向上計画を確認する枠組（中小企業等経営強化法等）を利用するなどして、事業者にとってワンスオンリーとできないか。

労務管理（雇用関係助成金）

論点に対する回答

重点分野	従業員の労務管理に関する手続（雇用関係助成金）
省庁名	厚生労働省
論点	1. オンライン化は、e-Gov 申請のような申請プラットフォームで行えるようにすべきではないか。その際、電子証明書を省略すべきではないか。
【回答】	<p>○ 雇用関係助成金の申請手続のオンライン化については、今後前向きに検討してまいりたい。その際下記のような課題を解決することが必要。その上で申請プラットフォームや電子証明書の省略について、検討していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 雇用関係助成金は景気状況や執行状況等を踏まえた機動的な対応が必要なことから、統廃合や支給要件の変更が随時行われており、その都度システム改修を行うとすると、臨機応変な対応に支障が生じるおそれがあること。 ※ 雇用保険の場合システム改修に1年程度の時間を要する。・ 助成金毎の支給要件に共通化できる部分が少なく、一部の手続のみを共通化してオンライン化することが困難であること。・ オンライン化に相当程度の時間・予算を要するとともに、並行して行われる助成金の統廃合や支給要件の変更によって更なるシステムの見直しが必要となること。 <p>○ なお、事業主の移動時間の削減の観点からオンライン化に先立ち、郵送による申請受付を今年度末に向けて検討中である。</p>

労務管理（雇用関係助成金）

重点分野	従業員の労務管理に関する手続（雇用関係助成金）
省庁名	厚生労働省
論点	2. 労務管理（雇用関係助成金）の20%削減のためには、毎年のオンライン利用率の目標を設定して取り組むべきではないか。
【回答】 ○ 雇用関係助成金における申請手続のオンライン化の課題は1. でお示したとおり。 ○ 雇用関係助成金の申請手続のオンライン化に上記の課題が存在し、毎年のオンライン利用率の目標については、上記の課題が解決することを前提として、更に検討すべき課題であると考えている。	

労務管理（雇用関係助成金）

重点分野	従業員の労務管理に関する手続（雇用関係助成金）
省庁名	厚生労働省
論点	<p>3. 窓口を介さずに遠隔で質問・相談ができるように、</p> <p>①音声自動説明を導入してはどうか。</p> <p>②テレビ会議（ネットを活用）システムを活用してはどうか。</p> <p>③事前予約に基づく時間指定制を導入することにより、待ち時間を削減できないか。</p>
<p>【回答】</p> <p>雇用関係助成金の申請に係る相談については、都道府県労働局又はハローワークにおいて電話でも受け付けており、窓口を介さない対面での質問相談を受け付けている。個別の御提案についての見解は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声自動説明については、助成金担当部署の代表電話等については公開しており、音声自動説明によらずとも担当者をご案内できることから、その必要性等が課題。 ・テレビ会議については、申請手続のためだけに事業主に施設整備を求める合理性や、電話と比較した場合の時間短縮効果が不明であることから総合的に検討すべき課題である。 ・事前予約制については、現在でも、事前に連絡を頂ければ、訪問する時間を調整することは可能である。窓口における相談状況を見つつ検討する。 	

労務管理（雇用関係助成金）

重点分野	従業員の労務管理に関する手続（雇用関係助成金）
省庁名	厚生労働省
論点	4. 申請様式の簡素化の具体的内容を明示されたい。
<p>【回答】</p> <p>政策目標の達成効果や不正受給の防止にも留意しつつ、事業主にとって必要最低限の手続となるよう、事務簡素化に向けて検討を行う。</p> <p>（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キャリアアップ助成金において、支給申請様式の情報には、いずれも審査・支払に当たり最低限必要な情報であるが、記述欄を極力減らし、該当する項目をチェックするだけにするなど、申請様式の簡素化に取り組んでいる。さらに、29年4月からは支給申請書の添付書類の一部について、従業員全員の連署を求めていたが、代表者1名の署名とする簡素化を実施。 ・ 両立支援等助成金における支給申請様式の「振込先」欄について、過去に支給実績を有する事業所の情報は既にシステム上の登録がされていることから、初めて支給申請を行う事業所についてのみ、別途振込先を記入する様式を設けることとし、個別の支給申請書の様式からは振込先欄を削除することを検討する。 ・ 職場意識改善助成金の支給対象の要件の一つとして、「労働者災害補償保険の適用事業主であること」としており、それに関連する情報について添付書類から除外するなどの簡素化を検討する。 	

労務管理（雇用関係助成金）

重点分野	従業員の労務管理に関する手続（雇用関係助成金）
省庁名	厚生労働省
論点	5. 計画書の認定申請時と支給申請時に重複する情報を求めているか。
【回答】 ○ 雇用関係助成金においては、事業所の名称や所在地などの基本情報を一部重複して求めている場合もある。 ○ 重複する情報の内容と情報を記入することに伴う事業主の負担等を勘案しつつ、簡素化を検討していく。	

労務管理（雇用関係助成金）

重点分野	従業員の労務管理に関する手続（雇用関係助成金）
省庁名	厚生労働省
論点	6. 従業員一人一人分について提出する必要がある教育計画等については、対象労働者全員分をまとめた様式に簡素化できないか。
【回答】 ○ 事業主がまとめて記載する必要がある訓練計画の様式については、既に労働者全員分をまとめた様式に簡素化している。 ○ 例えば労働者毎に訓練の内容が異なる等、申請手続において全員分をまとめられず労働者毎の状況の確認が必要な場合もあるため、助成内容等に応じて検討する必要がある。	

労務管理（雇用関係助成金）

重点分野	従業員の労務管理に関する手続（雇用関係助成金）
省庁名	厚生労働省
論点	7. 「助成金の種類が多く、どれが利用できるかわからない」という意見があるが、年間100件未満の助成金を含め、類似の助成金を整理・統合するなどして、助成金の種類を減らすべきではないか。
<p>【回答】</p> <p>政策効果が薄く給付実績の高い助成金等についてはPDCAサイクルのなかで既に不断の見直しを行っているほか、上記のご指摘やこれまでの各助成金の執行状況等を踏まえつつ、利用者である事業主等にとってさらに分かりやすく、使いやすいものとなるよう、今後も引き続き、整理・見直しを図る。</p> <p>※ 平成30年度に向けて、雇入れ、雇用環境整備、人材開発等といった各助成金の機能別に、それぞれ可能な限り整理統合を行う予定。</p>	

労務管理（雇用関係助成金）

重点分野	従業員の労務管理に関する手続（雇用関係助成金）
省庁名	厚生労働省
論点	8. コスト計測結果（実施分）について示されたい。

【回 答】

○ 特定求職者雇用開発助成金については以下の通り。

総合コスト（※）の平均…543分

申請に関する相談のためのハローワークへの訪問	回数	相談1回あたりに要した時間
	1. 27 回	20. 43 分
	(うち電話)	来所後、相談が始まるまでの待ち時間
	0. 44 回	4. 08 分
計画書の作成	枚数	1枚あたりの作成に要した時間
	4. 33 枚	33. 93 分
添付書類の作成	枚数	1枚あたりの作成に要した時間
	10. 93 枚	35. 16 分
ハローワークへの訪問に要する時間（移動時間）		59. 18 分
その他の手続き		1. 81 分

（※）総合コストの考え方

$$\text{総合コスト} = (\text{総相談時間}) + (\text{総待ち時間}) + (\text{総申請書作成時間}) + (\text{総添付書類作成時間}) + (\text{総移動時間}) + (\text{その他時間})$$

$$\begin{aligned} &= \text{【相談回数】} \times \text{【1回あたり相談平均時間】} \\ &\quad + (\text{【相談回数】} - \text{【電話相談回数】}) \times \text{【待ち時間】} \\ &\quad + \text{【申請書類作成枚数】} \times \text{【1枚あたり作成平均時間】} \\ &\quad + \text{【添付書類作成枚数】} \times \text{【1枚あたり作成平均時間】} \\ &\quad + (\text{【相談回数】} - \text{【電話相談回数】}) \times \text{【移動往復時間】} \\ &\quad + \text{【その他要した時間】} \end{aligned}$$

※なお、上記の表は各項目の平均値であるため、表中の値を基に求めた総合コストは、「総合コストの平均」とは一致しない。

労務管理(雇用関係助成金)

○ 雇用調整助成金については以下の通り。

<計画申請段階> 総合コスト(※)の平均…566分

申請に関する相談のためのハローワークへの訪問	回数	相談1回あたりに要した時間
	2.19回	33.68分
	(うち電話) 0.95回	来所後、相談が始まるまでの待ち時間 5.23分
計画書の作成	枚数	1枚あたりの作成に要した時間
	2.56枚	40.85分
添付書類の作成	枚数	1枚あたりの作成に要した時間
	9.18枚	38.59分
ハローワークへの訪問に要する時間(移動時間)		71.95分
その他の手続き		1.63分

<支給申請段階> 総合コスト(※)の平均…645分

申請に関する相談のためのハローワークへの訪問	回数	相談1回あたりに要した時間
	1.80回	32.29分
	(うち電話) 0.67回	来所後、相談が始まるまでの待ち時間 4.22分
計画書の作成	枚数	1枚あたりの作成に要した時間
	4.22枚	45.24分
添付書類の作成	枚数	1枚あたりの作成に要した時間
	10.93枚	45.69分
ハローワークへの訪問に要する時間(移動時間)		71.95分
その他の手続き		0.71分

労務管理(雇用関係助成金)

(※) 総合コストの考え方

$$\text{総合コスト} = (\text{総相談時間}) + (\text{総待ち時間}) + (\text{総申請書作成時間}) + (\text{総添付書類作成時間}) + (\text{総移動時間}) + (\text{その他時間})$$

$$\begin{aligned} &= \text{【相談回数】} \times \text{【1回あたり相談平均時間】} \\ &+ (\text{【相談回数】} - \text{【電話相談回数】}) \times \text{【待ち時間】} \\ &+ \text{【申請書類作成枚数】} \times \text{【1枚あたり作成平均時間】} \\ &+ \text{【添付書類作成枚数】} \times \text{【1枚あたり作成平均時間】} \\ &+ (\text{【相談回数】} - \text{【電話相談回数】}) \times \text{【移動往復時間】} \\ &+ \text{【その他要した時間】} \end{aligned}$$

※なお、上記の表は各項目の平均値であるため、表中の値を基に求めた総合コストは、「総合コストの平均」とは一致しない。

○ キャリアアップ助成金（正社員化コースのみ）については以下の通り。

<計画申請段階> 総合コスト(※)の平均…785分

申請に関する相談のための ハローワークへの訪問	回数	相談1回あたりに要した時間
	2.8回	23.2分
	(うち電話) 1.6回	来所後、相談が始まるまでの待ち時間 2.1分
計画書の作成	枚数	1枚当たりの作成に要した時間
	2.5枚	29.7分
添付書類の作成	枚数	1枚当たりの作成に要した時間
	14枚	35.7分
ハローワークへの訪問に要する時間(移動時間)		40.4分
その他の手続き		100分

労務管理（雇用関係助成金）

<支給申請段階> 総合コスト（※）の平均…1, 506分

申請に関する相談のための ハローワークへの訪問	回数	相談1回あたりに要した時間
	3.3回	19.1分
	(うち電話) 2.5回	来所後、相談が始まるまでの待ち時間 1.8分
申請書の作成	枚数	1枚あたりの作成に要した時間
	6.1枚	30.3分
添付書類の作成	枚数	1枚あたりの作成に要した時間
	42.3枚	26.6分
ハローワークへの訪問に要 する時間（移動時間）		37.2分
その他の手続き		90.5分

（※）総合コストの考え方

$$\text{総合コスト} = (\text{総相談時間}) + (\text{総待ち時間}) + (\text{総申請書作成時間}) + (\text{総添付書類作成時間}) + (\text{総移動時間}) + (\text{その他時間})$$

$$\begin{aligned} &= \text{【相談回数】} \times \text{【1回あたり相談平均時間】} \\ &+ (\text{【相談回数】} - \text{【電話相談回数】}) \times \text{【待ち時間】} \\ &+ \text{【申請書類作成枚数】} \times \text{【1枚あたり作成平均時間】} \\ &+ \text{【添付書類作成枚数】} \times \text{【1枚あたり作成平均時間】} \\ &+ (\text{【相談回数】} - \text{【電話相談回数】}) \times \text{【移動往復時間】} \\ &+ \text{【その他要した時間】} \end{aligned}$$

※なお、上記の表は各項目の平均値であるため、表中の値を基に求めた総合コストは、「総合コストの平均」とは一致しない。

労務管理(雇用関係助成金)

○ 建設労働者確保育成助成金については以下の通り。

<計画申請段階> 総合コスト(※)の平均…132分

申請に関する相談のためのハローワークへの訪問	回数	相談1回あたりに要した時間
	0.61回	13.13分
(うち電話)		来所後、相談が始まるまでの待ち時間
0.36回		2.50分
計画届の作成	枚数	1枚あたりの作成に要した時間
	4.43枚	9.82分
添付書類の作成	枚数	1枚あたりの作成に要した時間
	5.61枚	10.32分
ハローワークへの訪問に要する時間(移動時間)		21.50分
その他の手続き		6.67分

<支給申請段階> 総合コスト(※)の平均…745分

申請に関する相談のためのハローワークへの訪問	回数	相談1回あたりに要した時間
	0.71回	11.88分
(うち電話)		来所後、相談が始まるまでの待ち時間
0.32回		5.00分
支給申請書の作成	枚数	1枚あたりの作成に要した時間
	4.14枚	18.75分
添付書類の作成	枚数	1枚あたりの作成に要した時間
	15.32枚	35.54分
ハローワークへの訪問に要する時間(移動時間)		21.50分
その他の手続き		50.63分

労務管理（雇用関係助成金）

（※）総合コストの考え方

$$\text{総合コスト} = (\text{総相談時間}) + (\text{総待ち時間}) + (\text{総申請書作成時間}) + (\text{総添付書類作成時間}) + (\text{総移動時間}) + (\text{その他時間})$$

$$\begin{aligned} &= \text{【相談回数】} \times \text{【1回あたり相談平均時間】} \\ &+ (\text{【相談回数】} - \text{【電話相談回数】}) \times \text{【待ち時間】} \\ &+ \text{【申請書類作成枚数】} \times \text{【1枚あたり作成平均時間】} \\ &+ \text{【添付書類作成枚数】} \times \text{【1枚あたり作成平均時間】} \\ &+ (\text{【相談回数】} - \text{【電話相談回数】}) \times \text{【移動往復時間】} \\ &+ \text{【その他要した時間】} \end{aligned}$$

※なお、上記の表は各項目の平均値であるため、表中の値を基に求めた総合コストは、「総合コストの平均」とは一致しない。

○ 両立支援等助成金（再雇用者評価処遇コース助成金）については、4月以降に再雇用した労働者を6か月以上継続雇用することが助成金支給の要件となっているため、最速でも支給申請は本年10月1日以降となる。そのため、当該助成金のコスト計測については、本年10月以降、フォローアップに対応できる適切な時期にサンプル調査及び計測を行う。

○ 人材開発支援助成金については以下の通り。

<計画策定時> 総合コスト489分（※）

申請に関する相談のためのハローワークへの訪問	回数	相談1回あたりに要した時間
	2.24回	23.88分
	(うち電話) 1.88回	来所後、相談が始まるまでの待ち時間 4.19分
書類の作成	枚数	1枚当たりの作成に要した時間
	5.89枚	39.10分
添付書類の作成	枚数	1枚当たりの作成に要した時間
	7.24枚	39.67分
ハローワークへの訪問に要する時間（移動時間）		64.10分
その他の手続き		—

労務管理（雇用関係助成金）

<支給申請時> 総合コスト269分（※）

申請に関する相談のためのハローワークへの訪問	回数	相談1回あたりに要した時間
	1. 63 回	25. 42 分
	(うち電話)	来所後、相談が始まるまでの待ち時間
	1. 25 回	7. 56 分
書類の作成	枚数	1枚あたりの作成に要した時間
	3. 83 枚	40. 57 分
添付書類の作成	枚数	1枚あたりの作成に要した時間
	6. 35 枚	30. 90 分
ハローワークへの訪問に要する時間（移動時間）		68. 70 分
その他の手続き		—

（※）総合コストの考え方

$$\text{総合コスト} = (\text{総相談時間}) + (\text{総待ち時間}) + (\text{総申請書作成時間}) + (\text{総添付書類作成時間}) + (\text{総移動時間}) + (\text{その他時間})$$

$$\begin{aligned} &= \text{【相談回数】} \times \text{【1回あたり相談平均時間】} \\ &+ (\text{【相談回数】} - \text{【電話相談回数】}) \times \text{【待ち時間】} \\ &+ \text{【申請書類作成枚数】} \times \text{【1枚あたり作成平均時間】} \\ &+ \text{【添付書類作成枚数】} \times \text{【1枚あたり作成平均時間】} \\ &+ (\text{【相談回数】} - \text{【電話相談回数】}) \times \text{【移動往復時間】} \\ &+ \text{【その他要した時間】} \end{aligned}$$

※なお、上記の表は各項目の平均値であるため、表中の値を基に求めた総合コストは、「総合コストの平均」とは一致しない。

- 産業保健活動総合支援事業における助成金については、助成金の申請を受け付けている労働者健康安全機構において、8月末までの申請事業者から複数抽出し、各手続きに要した時間についてヒアリング調査を行った。結果は以下のとおり。

労務管理(雇用関係助成金)

(単位：時間)

手続きに係る作業	平均所要時間	手続きに係る作業	平均所要時間
手引き確認	2.5	発送準備	1.2
電話相談	0.8	郵送	0.3
申請書の作成	2.6	その他	0.6
添付書類の準備	4.1	総合コストの平均	12.2

(※) 総合コストの考え方

総合コスト = (手引き確認時間) + (電話相談時間) + (申請書作成時間) + (添付書類準備時間) + (発送準備時間) + (郵送に係る時間) + (その他時間)

※なお、上記の表は各項目の平均値であるため、表中の値を基に求めた総合コストは、「総合コストの平均」とは一致しない。

労務管理（雇用関係助成金）

重点分野	従業員の労務管理に関する手続（雇用関係助成金）
省庁名	厚生労働省
論点	9. 現在検討中の中小企業の生産性を向上するための設備投資の助成金について、既存の生産性向上計画を確認する枠組（中小企業等経営強化法等）を利用するなどして、事業者にとってワンストップとできないか。
<p>【回答】</p> <p>○ ご指摘の人材確保等支援助成金の設備改善等支援コースについては、今後予算編成の過程において具体的な要件を検討していく。</p> <p>○ 当該検討プロセスにおいて、当該助成金の要件について事業主にとって使いやすいものとなるよう留意してまいりたい。</p>	